

アーク溶接の火花の危険性

被覆アーク溶接の作業では多くの火花が発生しますが、この火花にはスパッタ、スラグの他に溶けた金属のかたまり(溶滴)などが含まれ、火花発生時にはその温度は2,000～3,000℃ほどにもなると言われています。

飛散する距離については、電流値等によるアークの勢いで違いはありますが、だいたい半径1m前後の範囲で飛散します。

発生した火花は飛散中に冷却されますが、周囲の可燃物に接触すれば容易に着火するので適切な対策が必要です。

◎アーク溶接作業を行う時は、

- ・周囲の可燃物を除去する
- ・カーボクロスや不燃性シートなどで火花の養生を行う
- ・作業場所を区画し、必要に応じて立入禁止措置を行う
- ・消火バケツや消火器を準備する

などの対策をとって、火花による火傷や着火などのトラブルを防ぎましょう！

